

# 地方CR活動

和歌山県協会

障がい者・高齢者・こども食堂支援

県内福祉保健施設 5 施設へ物品を寄贈しました

和歌山県協会（会長：村尾和義 明治安田生命和歌山支社長）では、10月28日に「わかやま生保協会たすけあい募金」による県内福祉保健施設 5 施設への希望物品寄贈・目録贈呈式を和歌山県庁内会議室にて執り行いました。

はじめに、和歌山県福祉保健部福祉政策局長から挨拶を頂き、その後、福祉保健施設の各代表者へ和歌山県協会村尾会長から目録を贈呈しました。

施設の代表者から「希望する品を寄贈頂き、深い支援に感謝します。入所者、利用者、職員一同とても喜んでいきます。充実した生活ができるよう取り組んでいきます。」とお礼の言葉がありました。目録贈呈後、参加者全員で記念撮影を行いました。

募金を財源とする福祉保健施設への物品寄贈は 1990 年から今年で 35 年目を迎え、寄贈した施設数は延べ 223 施設となりました。

和歌山県協会では今後も一層の社会貢献活動に注力していきます。

